

中央市役所 福祉部 長寿推進課

地域包括支援センター

ご活用ください

このような心配ごとはありませんか？

*介護保険を申請したい。高齢者向けサービスを知りたい。

*最近、物忘れが気になる。

*健康づくりのために何か教室に参加したい。

*入院して、退院後の生活が不安。

地域包括支援センターは高齢者や家族の何でも相談窓口です。



中央市地域包括支援センター

住 所 中央市臼井阿原301-1（中央市役所内）

電 話 055-274-8558

時 間 午前8時30分～午後5時15分

休業日 土日・祝日・12月29日～1月3日

何でも ご相談ください

認知症の相談が増えています。

認知症や介護に関する悩み、健康や福祉に関することなどさまざまな困りごとについてご相談ください。

必要に応じて介護保険や総合事業など適切な支援につなげます。



地域包括支援センター



主任
ケアマネジャー



保健師



社会福祉士



事務



高齢者のみなさんの 権利を守ります

高齢者の虐待防止・早期発見に努めます

虐待を発見した場合や、通報があった場合は関係機関と連携し、高齢者の権利を守ります。

高齢者の権利・財産を守ります

預貯金などの財産管理やさまざまな契約などを行う際、認知症などで適切な判断ができない方のために成年後見制度などを紹介します。



健康づくり 介護予防を応援します

元気なうちから介護予防！

元気な方、基本チェックリストで介護予備軍と判定された方、要支援認定を受けた方には様々な介護予防サービスをご案内し、いつまでも自宅で自立した生活が送れるよう支援します。

地域全体で 高齢者を支えます

高齢者を支える地域づくり

在宅での生活を支える医療機関、介護サービス事業所、民生委員、近隣住民など高齢者の生活に関わるさまざまな方と連携をとり、地域全体で高齢者を支えます。



みなさんにとって住みやすい地域をつくるために 下記の分野に力を入れます！

地域ケア会議の推進

高齢者や支援者を支える個別ケア会議や、田富・玉穂・豊富の3地区の地域住民と関係者による小地域ケア会議を開催し、地域づくりを進めています。

在宅医療・介護連携推進

病気があっても自宅等の住み慣れた場で療養し、医療と介護の連携を深め、高齢者が住み慣れた地域で「生ききる」ことができるまちを目指します。

認知症の人への支援体制整備

認知症とともにより良く生きることができ、地域づくりを進めていきます。認知症の人や家族、地域住民が集う認知症カフェ（オレンジカフェ）の開催や見守りSOSネットワークの強化など認知症の人への支援体制整備を行います。

生活支援サービスの充実と

高齢者の社会参加の推進

生活支援コーディネーターの配置と、地域がつながり安心して暮らせるまちづくりのために、地域に集いの場などの居場所づくりを進めています。

より良い地域を目指して



誰にでも起こる病気 認知症

声をかけ みんなで支え合おう

認知症かな？と思ったら

早期発見・早期受診・診断・早期治療が大切

「認知症は治らないから病院に行っても仕方がない。」という人もいますが、これは間違った考えです。早期受診や治療によって、以下のような効果が期待できます。

- 薬によって症状の進行を遅らせ、元気に過ごせる時間を長くできる
- 治療可能な認知症がある
- 本人の思いを今後の生活に反映できる



認知症の人への接し方

「認知症になったら何もわからなくなる」
は間違いです！

誰よりも不安で、悲しんでいるのは認知症になった本人だということを忘れずに接することが大切です。

●認知症の方への対応の心得

- 1 驚かせない
- 2 急がせない
- 3 自尊心を傷つけない

●具体的な対応のポイント

- 1 まずは見守る
- 2 声をかけるときは1人で
- 3 後ろから声をかけない
- 4 相手に目線を合わせておだやかに、はっきりした滑舌で
- 5 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

(参考：全国キャラバン・メイト連絡協議会「認知症を学び地域で支えよう」)



家族支援

オレンジカフェ中央

認知症のご本人や家族、地域の皆さんが気兼ねなく集える場です。日ごろの悩みを相談したり、情報交換、レクリエーションなど気分転換もできます。

必要時、専門職や介護経験者が個別の相談を受けています。

初めて参加される方は地域包括支援センターまでご連絡いただくと幸いです。

日時：毎月第4金曜日

午後1時30分～3時30分

場所：玉穂総合会館1階

他に市内3か所でも
開催しています。



お問い合わせ

中央市地域包括支援センター（中央市役所内）

電話 274-8558